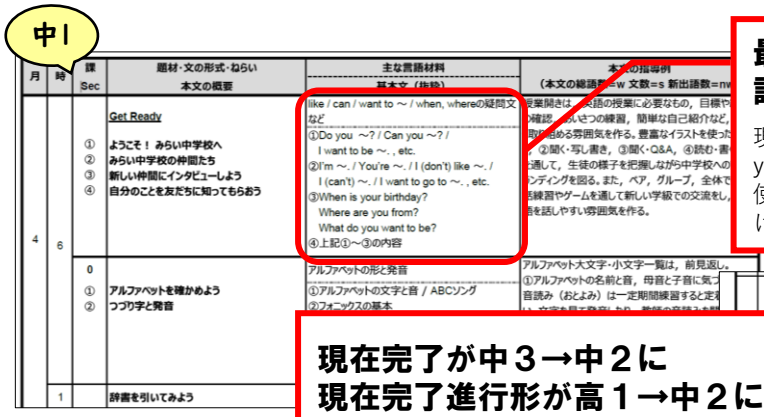
学校の英語学習についていける自信ありますか？

これから

来春の教科書改訂により、中学英語が難しくなります

中1

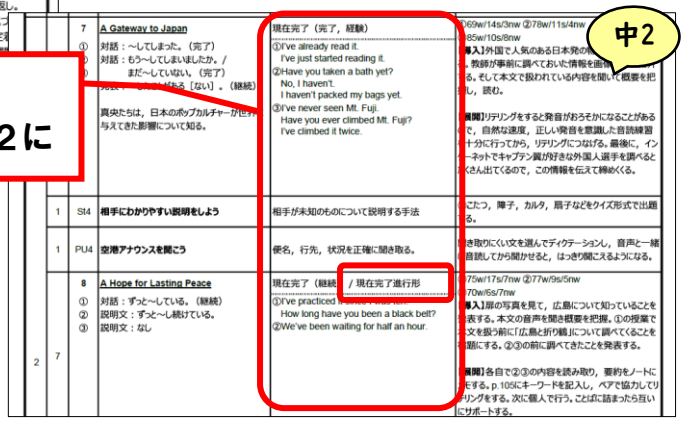


最初の導入部でいきなりbe動詞/一般動詞/助動詞/疑問詞疑問文の表現

現在この部分は”Hello””How are you?””Thank you.””See you.””Stand up.”といった挨拶や、教室で使う指示などで、上記の内容はＧＷ明け～夏休み明けあたり

現在完了が中３→中２に
現在完了進行形が高１→中２に

中2



指導している側から見て、今現在、中学生達が英語学習に余裕があるようには全く見えない状況ですが、英語学習はどんどん低年齢化・難化が進んでいく様子です。
これはここスタディがある地域の採択教科書の１つであり、教科書によるところはありますが、検定教科書である以上、他も同じような状況でしょう。身構えてしまいますね。

その他にも、新学習指導要領では…

- **英語学習の低年齢化**
  （小3・4で「外国語活動」（聞く・話す）必修、
  小5・6で「外国語」（読む・書く）教科化【済】）
- **小学校の「外国語」年間35単位時間増加**
- **語彙数大幅増加**
  （小学校で600～700語、
  中学校で1200語→1600～1800語、
  高校3000語→4000～5000語）
- **高校に加え、中学でも原則授業を外国語で行う**
- **高校→中学へ学習早期化**
  （「仮定法」「S+V+O+原形不定詞」「S+beV+C+that節」）
- **長文化**
  （より長く、より難しく。
  対話文中心→説明文、論説文中心に）

ここスタディは学習指導要領や学校教育を批判するつもりはありません。このような方針を取る理由も目的も理解しています。

ただ、指導しながら現状を見ていると、ついていける一部の生徒とついていけない大部分の生徒で、**二極化**するだろうなということが予想されます。

みなさんは、どちらでしょう？それを分けるのは、**早期の学習習慣・学習姿勢の定着**であると考えています。

不安になったら…教室までご相談を！

個々別指導塾
ここスタディ
COCO Study